

備前市事務事業評価表

事務事業名	学校図書館運営事業		コード	03-01-02-11
			担当課・係	学校教育課
			担当者	三村 実
			電話	64-1840
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	読書活動の推進		

事業について	
目的 (何のために)	各学校の図書室の管理・運営と児童生徒の読書活動を推進する。
対象 (誰・何を対象に)	市内各小・中学校の児童・生徒
内容	市内各小・中学校に学校図書館司書を配置し、各学校の図書室の管理・運営を行い、児童生徒の読書活動が推進できるように司書教諭等と連携して、教育活動に取り組み。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
小中学校図書館司書雇用時数	8,400 時	13,216 時	
学校図書館司書雇用人数	7 人	7 人	
学校図書館司書配置校	19 校	19 校	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	11,462	間接補助金等		直接事業費	14,431	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	1,380	受益者負担		人件費	540	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	12,842	一般財源等	12,842	合計	14,971	一般財源等	14,971	合計	0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	小中学校図書館司書雇用時数	小中学校図書館司書雇用時数
	結果指標量	8,400	13,216
	単位	時間	時間
結果指標	対前年比	-	157.33%
	活動にかかるコスト	12,842,000 円	14,431,000 円
	単位当たりコスト	1,529 円	1,092 円
結果指標	結果指標名	学校図書館司書雇用人数	学校図書館司書雇用人数
	結果指標量	7	7
	単位	人	人件費
結果指標	対前年比	-	100.00%
	活動にかかるコスト	12,842,000 円	14,431,000 円
	単位当たりコスト	1,834,571 円	2,061,571 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	平成17年度まで非常勤で配置していた学校図書館司書を常勤で配置し、図書室の管理・運営にかかる時間を確保するとともに、日常的に学校図書館司書が児童生徒と関わりをもち、積極的に教育推進に努めることができるようになる。		
成果指標名	図書館司書の配置率(%)	式又は説明	図書館司書雇用時数/配置校数
	17年度	18年度	
成果指標量	442	696	
対前年比	-	157.33%	0.00%
到達目標値	944	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	児童生徒の読書活動を推進するために小中学校に配置するものであり、学校図書館の管理・運営や児童生徒への読み聞かせ活動等、積極的な活用が図られている。平成18年度からは常勤として勤務しており、児童生徒と関わる時間も昨年度より確保でき、効果をあげていると考えている。また、他の教職員との連携も図られており、教育推進に関わる共通理解も図りやすい環境になっている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事業費の大半が学校図書館司書の人件費であり、雇用人数を増やして兼務校を減らす方向での要望がきわめて強い。コストの削減には結びつきにくい。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	この事業に関する学校の評価は高く、読書活動は充実してきている。今後、増員を図り、目標を達成する努力をしていきたい。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 平成19年度は、平成18年度末の退職者の補充により人員を新たに配置したが、増員には結びついていない。平成20年度に向けた課題ととらえている。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 13,216 結果指標量 696		

総合評価	平成18年度は、学校図書館司書の人数の増員はできなかったが、非常勤から常勤勤務に切り替えることで、児童生徒と関わる時間を確保することに努めた。また、各学校では、児童生徒の指導について共通理解を図る時間が確保できるなど、概ね成果を上げることができているが、兼務校が多く、まだまだ今後取り組むべき課題が多い。	評価区分 <A~E> B
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	学校図書館司書の配置人数を増やし、一人2校の兼務となるようにする。	平成21年度	さらにきめ細かな取組ができ、児童生徒との関わりもさらに深めることが可能となる。